

平成 29 年度  
男女共同参画に関する  
市民意識調査報告書  
(概要版)

桶川市

# 桶川市男女共同参画に関する市民意識調査

## 概要版

この概要版は、「男女共同参画に関する市民意識調査」の結果をとりまとめたものである。調査は、男女共同参画に関する市民の意識及び実態を把握し、男女共同参画推進のための指針「桶川市第三次男女共同参画基本計画」の見直しや、今後の市の施策を検討するための基礎資料とすることを目的として実施しました。

### 調査の概要

#### 《調査の設計》

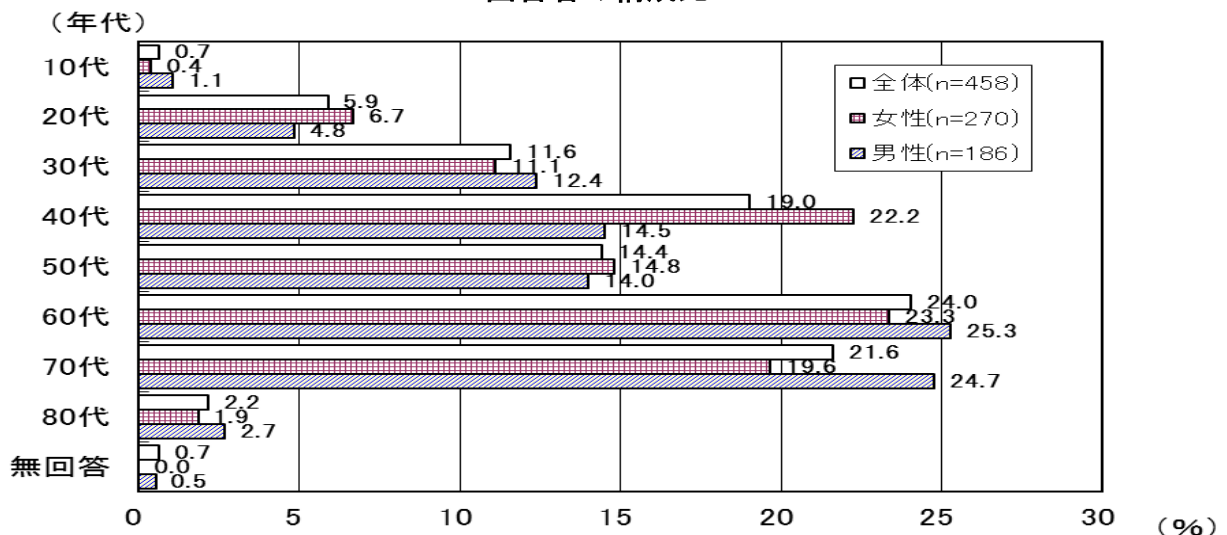
- 調査地域:桶川市全域
- 調査対象:市内在住の満18歳以上の男女1,000人
- 抽出方法:住民基本台帳から無作為抽出
- 調査方法:郵便配布、郵送回収
- 調査期間:平成29年10月5日(木)～10月31日(火)
- 有効回収数:458(女性:270人 男性:186人 性別無回答:2人)
- 有効回収率:45.8%(女性59.0% 男性:40.6%)

#### 《調査内容》

- (1)男女平等意識について
- (2)家庭生活について
- (3)ワーク・ライフ・バランスについて
- (4)就労について
- (5)配偶者等からの暴力について
- (6)防災について
- (7)地域参加・社会参画について
- (8)桶川市の政策(男女共同参画推進施策)について

※構成比(%)は、各々の回答数を該当する全体数(複数回答の場合はその合計)で除した値で、合計値は100%にならない場合がある。

### 回答者の構成比

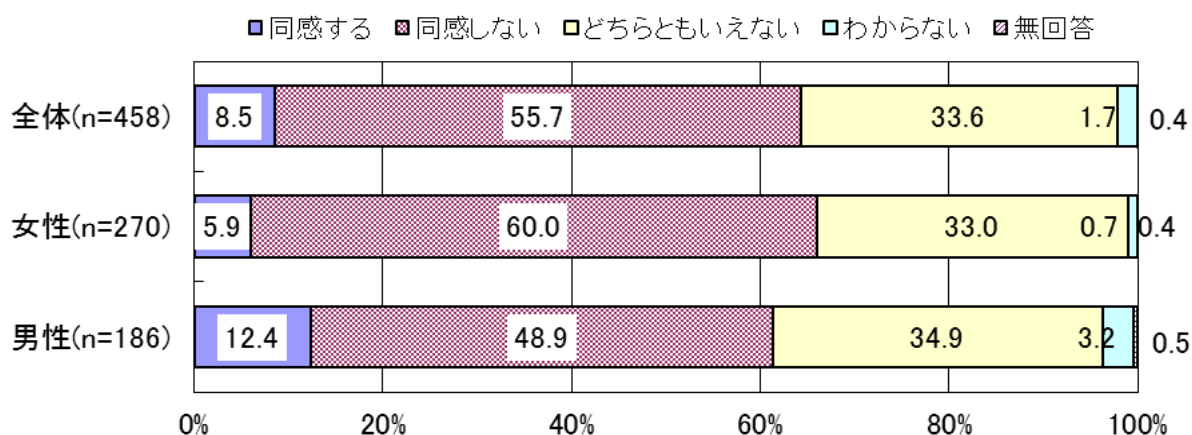


## (1) 男女平等意識について

### 「男は仕事、女は家庭」という考え方

全体では、「同感しない」が55.7%となっており、「同感する」が8.5%で、約6倍となっている。男女別にみると、「同感しない」は女性が60.0%、男性が48.9%と、女性が11.1ポイント上回っている。

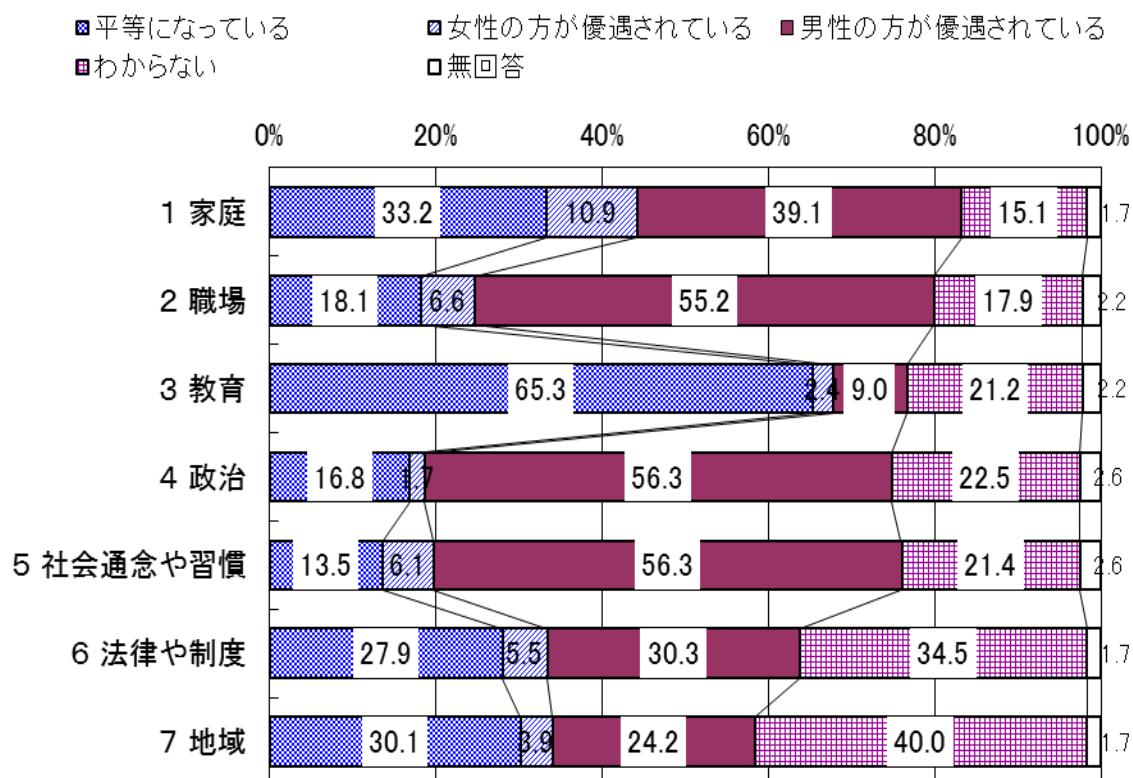
図1-1-1



### 各分野における男女のあり方

全体では、「平等になっている」は【教育】が65.3%、「女性の方が優遇されている」は、【家庭】が10.9%、「男性の方が優遇されている」は、【政治】と【社会通念や習慣】が56.3%と高くなっている。

図1-2-1 (全体n=458)



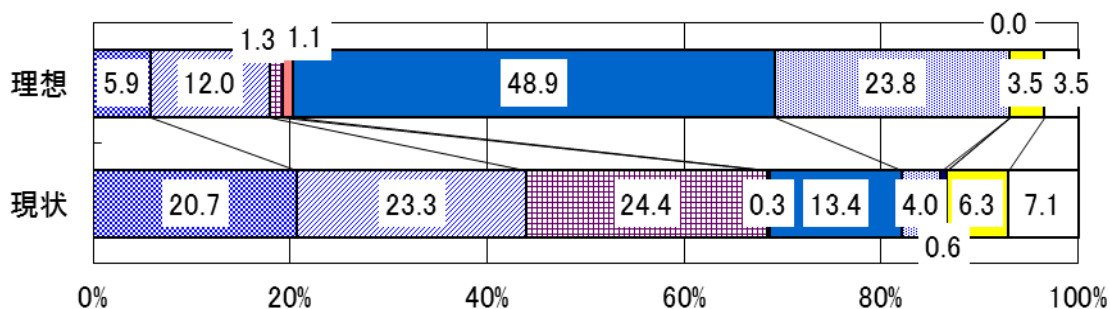
## (2) 家庭生活について

### 家庭における仕事と家事・育児等の男女の役割分担の理想と現状

理想では、「男女とも仕事をし、家事・育児・介護は男女とも分担する」が48.9%と高くなっている。現状では、「男女とも仕事をし、家事・育児・介護は主に女性が分担する」が24.4%、次いで「男性は仕事、女性は家事・育児・介護に差し支えない範囲で仕事をする」が23.3%と高くなっている。

図2-1-1 (全体n=458)

- ① 男性は仕事、女性は家事・育児・介護を分担する
- ② 男性は仕事、女性は家事・育児・介護に差し支えない範囲で仕事をする
- ③ 男女とも仕事をし、家事・育児・介護は主に女性が分担する
- ④ 男女とも仕事をし、家事・育児・介護は主に男性が分担する
- ⑤ 男女とも仕事をし、家事・育児・介護は男女とも分担する
- ⑥ 男女とも仕事をし、家事・育児・介護は家族や民間サービスを活用する
- ⑦ 女性は仕事、男性は家事・育児・介護を分担する
- ⑧ 女性は仕事、男性は家事・育児・介護に差し支えない範囲で仕事をする
- ⑨ その他
- ⑩ 無回答



## (3) ワーク・ライフ・バランスについて

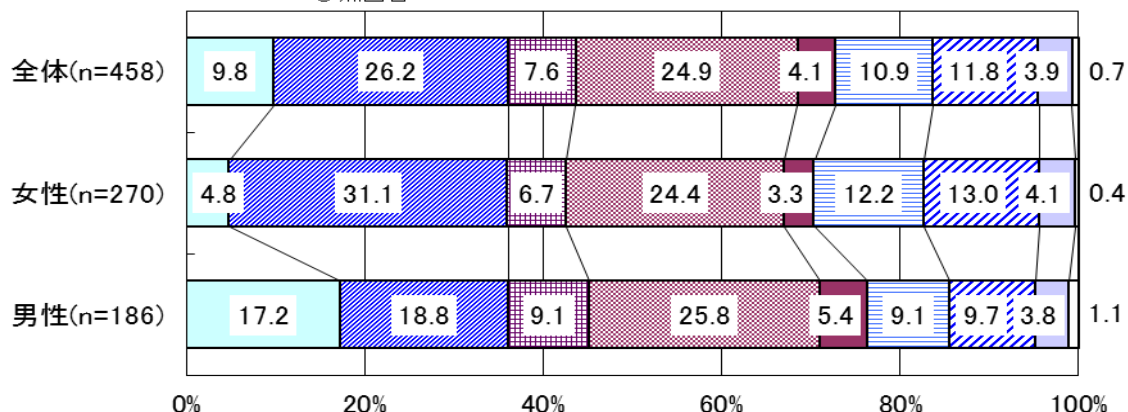
### 仕事・家庭生活・個人の生活の優先度

全体では、「家庭生活」を優先が26.2%と高くなっている。

男女別にみると、女性は「家庭生活」を優先が31.1%と高くなっており、男性は、「仕事」と「家庭生活」をともに優先が25.8%と高くなっている。

図3-2-1

- ①「仕事」を優先
- ②「家庭生活」を優先
- ③「個人の生活」を優先
- ④「仕事」と「家庭生活」をともに優先
- ⑤「仕事」と「個人の生活」をともに優先
- ⑥「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先
- ⑦「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先
- ⑧わからない
- ⑨無回答

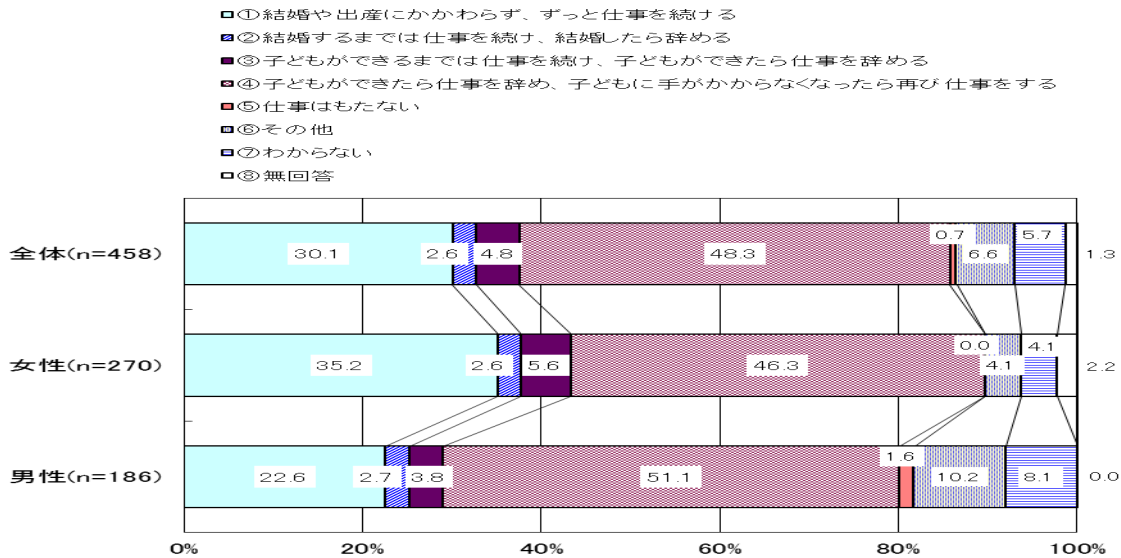


#### (4) 就労について

##### 女性の働き方の理想

男女別にみると、「子どもができたら仕事を辞め、子どもに手がかからなくなったら再び仕事をする」は、女性が46.3%、男性が51.1%で男性の方が高くなっている。一方で「結婚や出産にかかわらず、ずっと仕事を続ける」は女性が35.2%、男性が22.6%で女性の方が高くなっている。

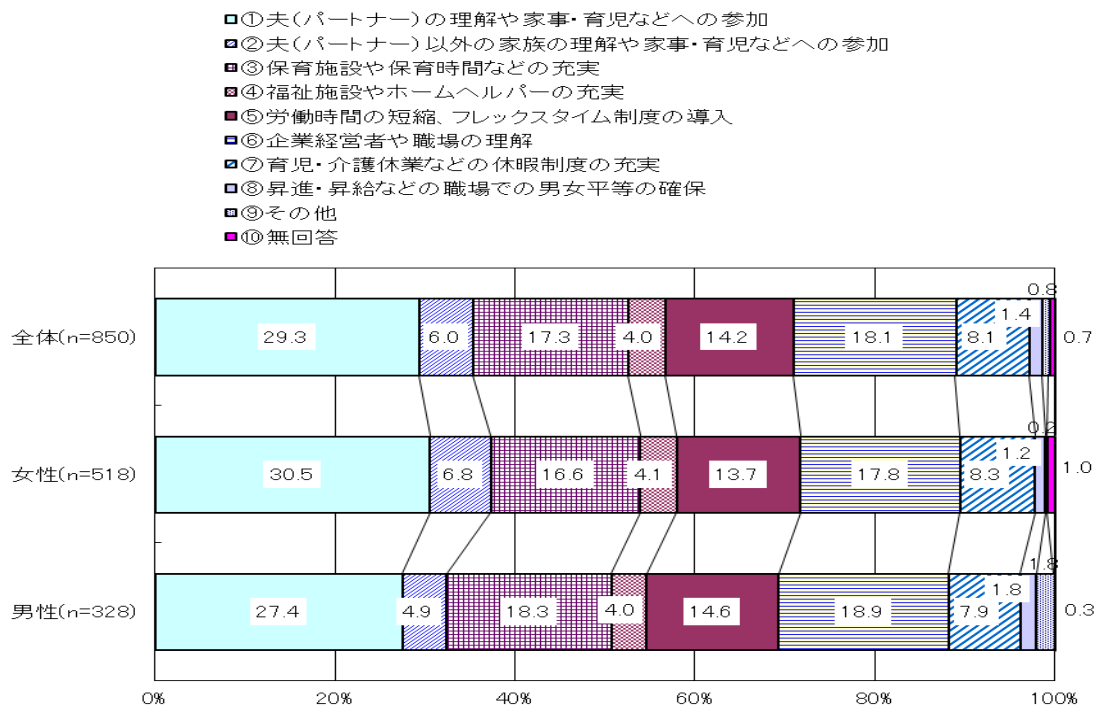
図4-1-1



##### 女性が結婚後、出産後も退職せずに働き続けるために必要なこと

男女別にみると、「夫（パートナー）の理解や家事・育児などへの参加」は、女性が30.5%、男性が27.4%で、女性の方が高くなっている。一方で、「企業経営者や職場の理解」は、女性が17.8%、男性が18.9%で、男性の方が高くなっている。

図4-3



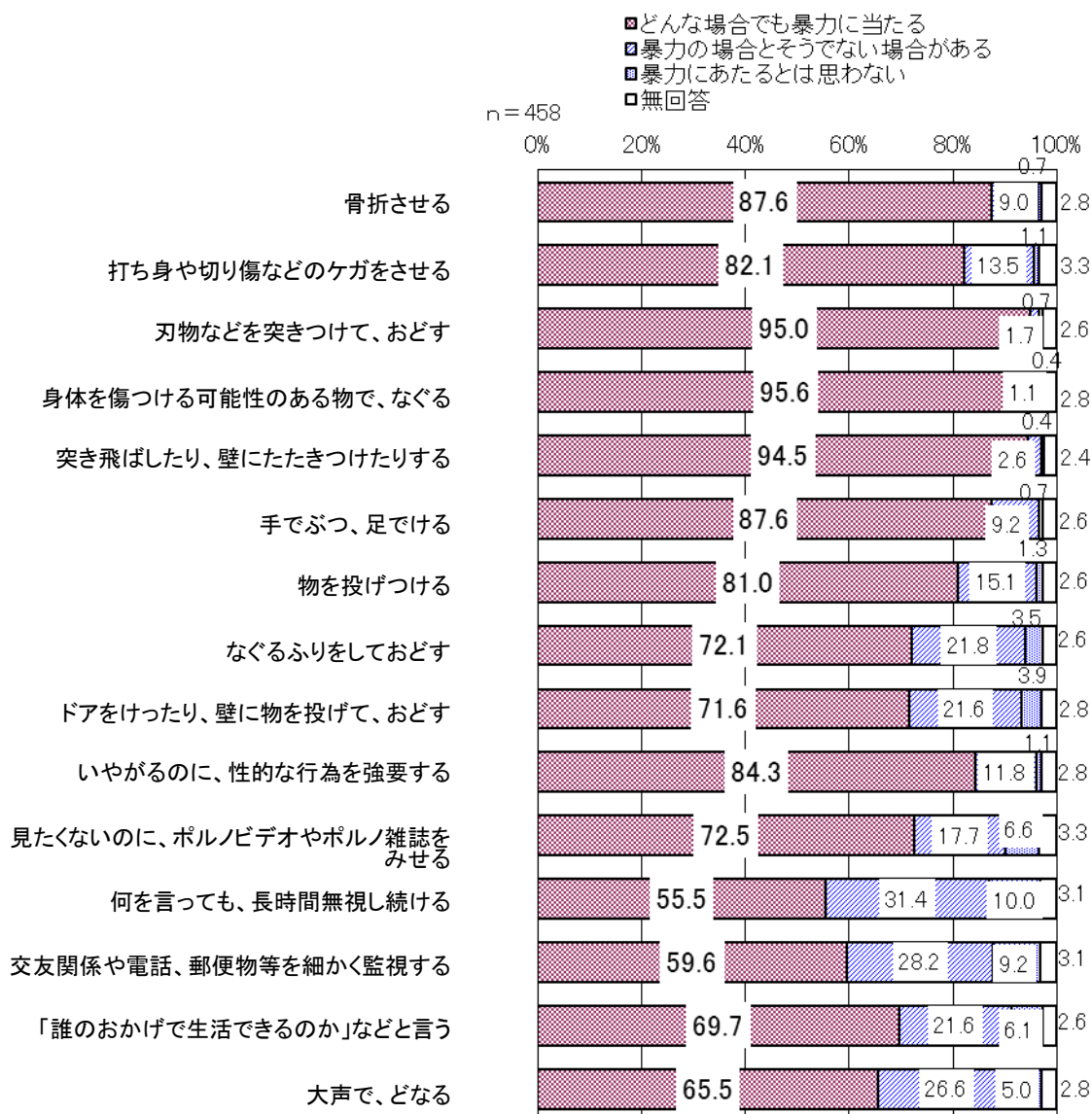
## (5) 配偶者等からの暴力について

### 暴力についての認識

全体では、「どんな場合でも暴力にあたる」として9割を超えているのは、【身体を傷つける可能性のある物で、なぐる】が95.6%、次いで【刃物などを突きつけて、おどす】が95.0%、【突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする】が94.5%である。

一方で、【何を言っても、長時間無視し続ける】の10.0%と、【交友関係や電話、郵便物等を細かく監視する】の9.2%については、約1割が「暴力にあたるとは思わない」と回答している。

図5-1-1 (全体)

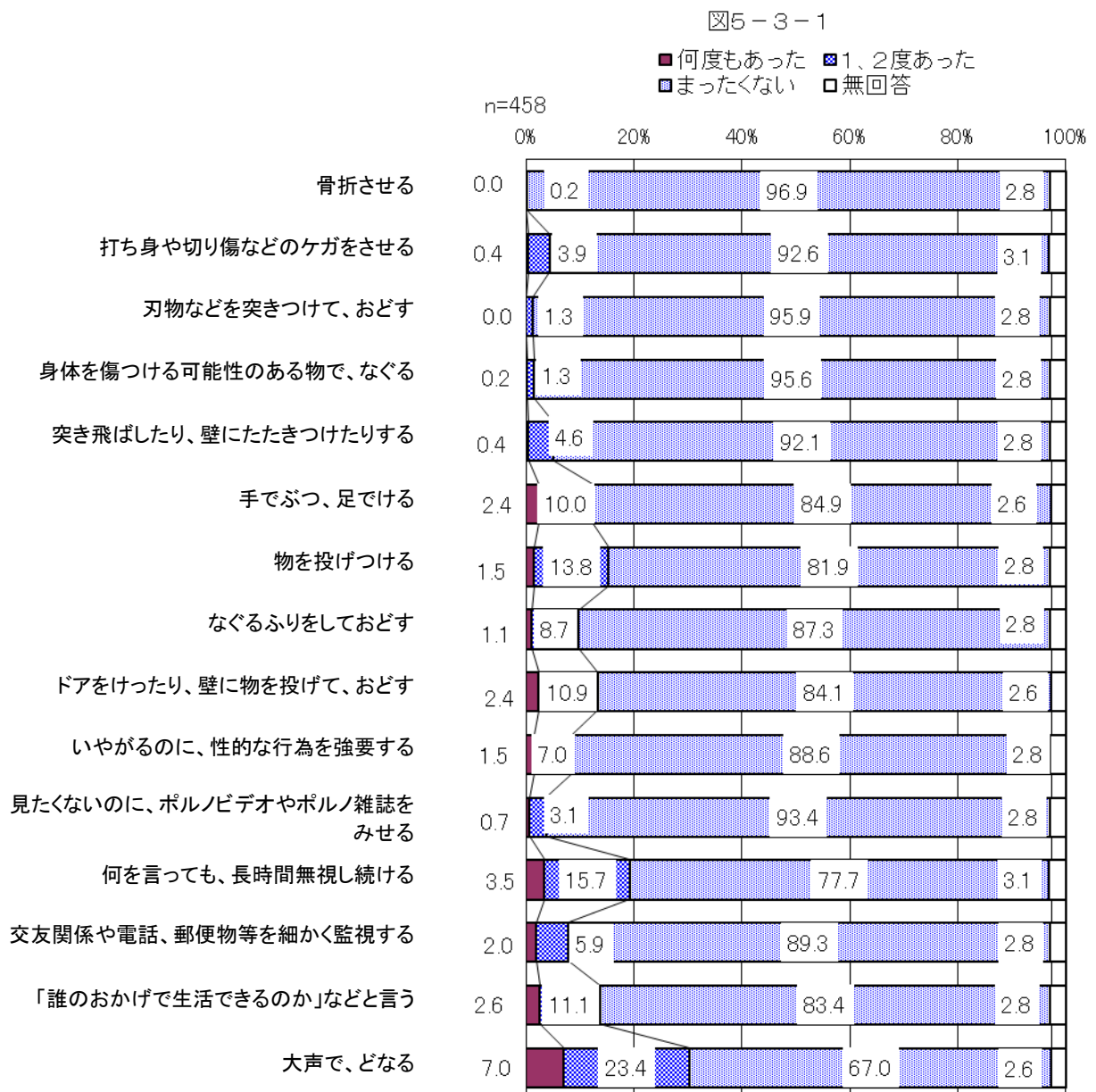


## 暴力の被害状況

全体では、「何度もあった」の上位は、【大声で、どなる】が7.0%、次いで【何を言っても、長時間無視し続ける】が3.5%、【「誰のおかげで生活できるのか」などと言う】が2.6%となっている。

「1、2度あった」の上位は、【大声で、どなる】が23.4%、次いで【何を言っても、長時間無視し続ける】が15.7%、【物を投げつける】が13.8%となっている。

「まったくくない」は、【大声で、どなる】以外の項目が7割以上となっている。

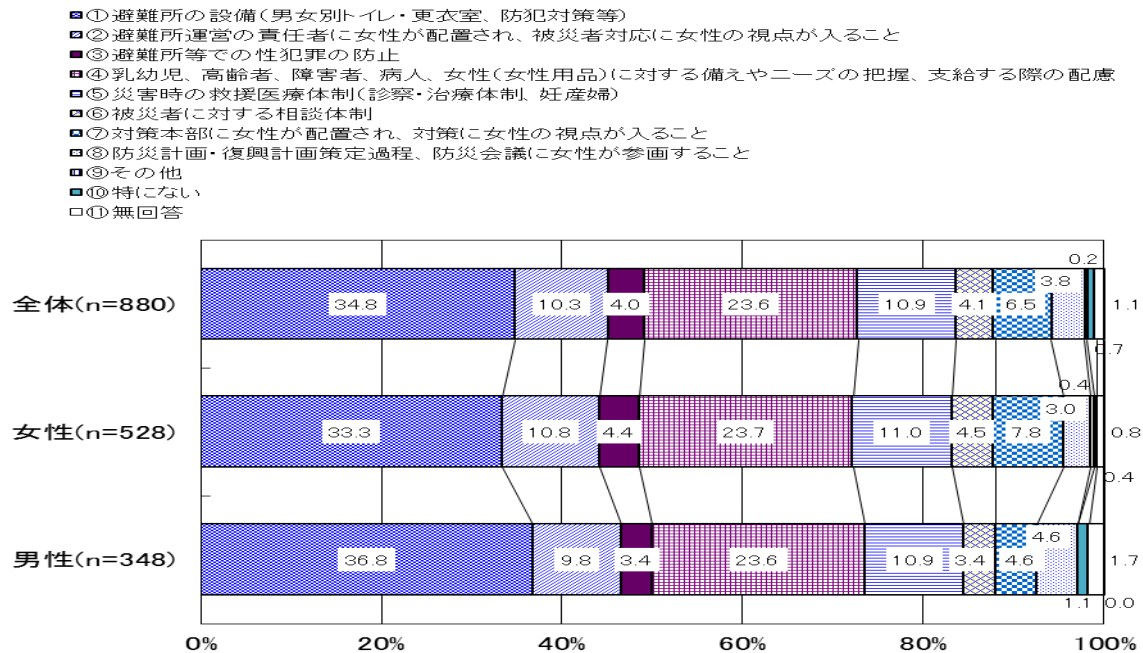


## (6) 防災について

### 防災・災害復興対策として男女の性別に配慮して取組むべきこと

全体では、「避難所の設備（男女別トイレ・更衣室、防犯対策等）」が34.8%、次いで「乳幼児、高齢者、障害者、病人、女性（女性用品）に対する備えやニーズの把握、支給する際の配慮」が23.6%と高くなっている。

図6-2-1



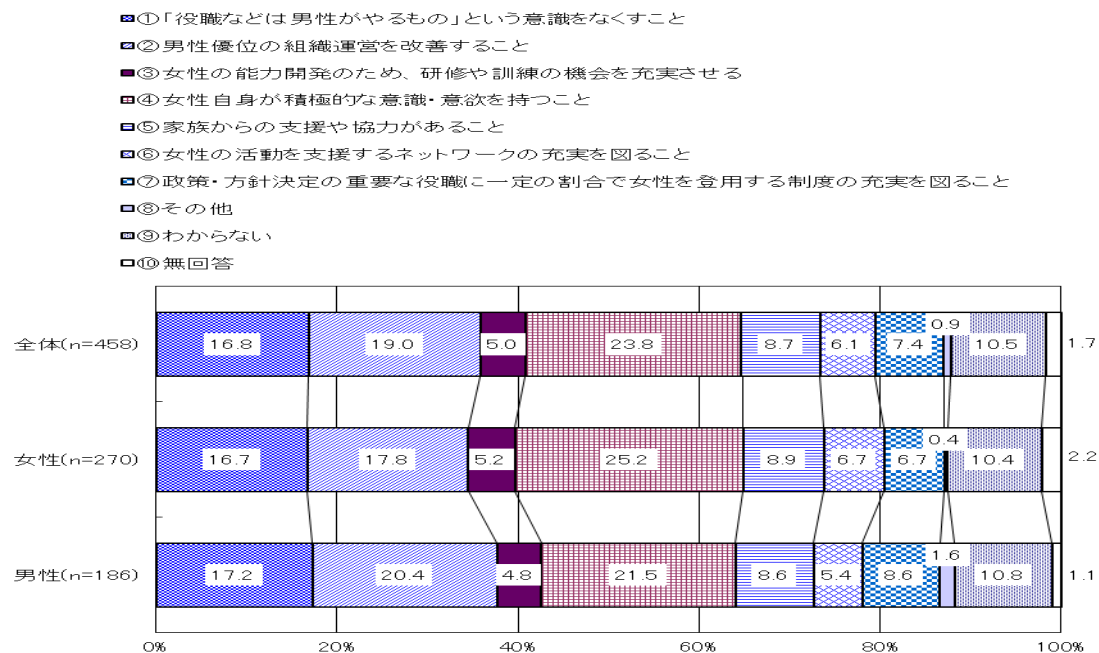
## (7) 地域参加・社会参画について

### 政策・方針決定の場に女性の参画が増えていくために必要なこと

全体では、「女性自身が積極的な意識・意欲を持つこと」が23.8%と高くなっている。

男女別で見ると、「女性自身が積極的な意識・意欲を持つこと」は女性が25.2%、男性が21.5%と高くなっている。

図7-5-1





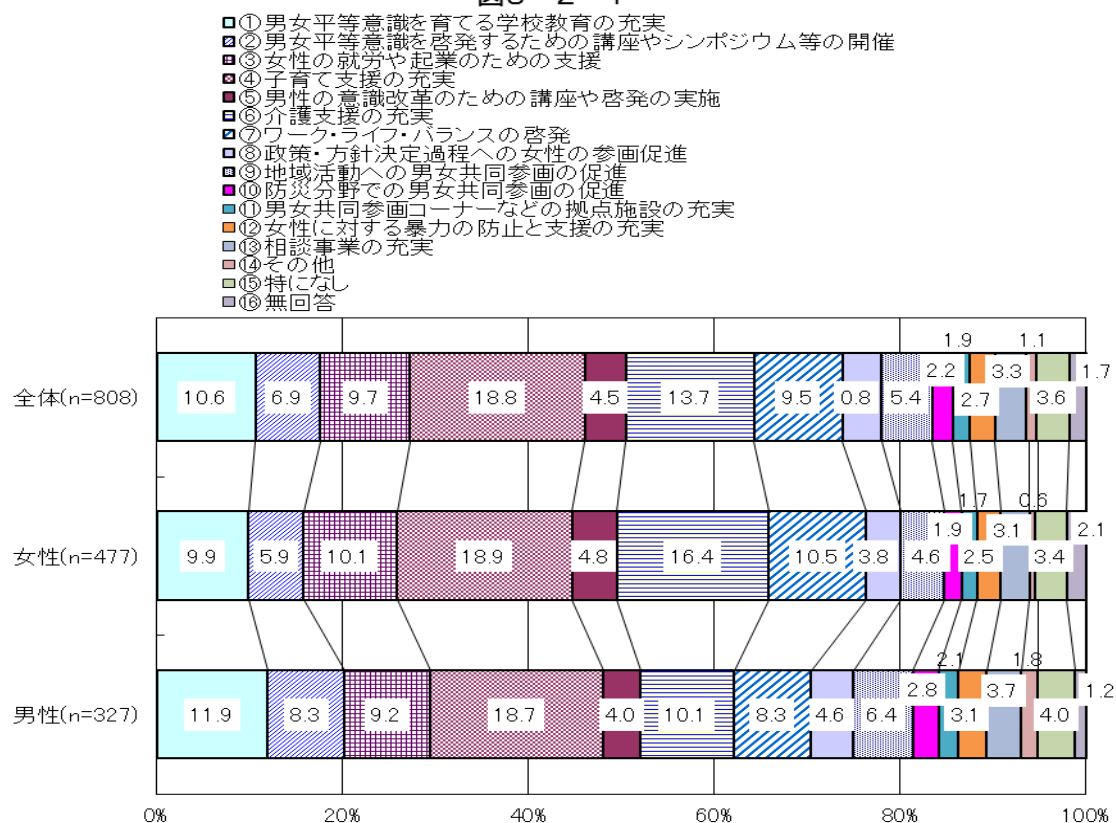
## (8) 桶川市の政策（男女共同参画推進施策）について

### 男女共同参画社会の実現のための取組

全体では、「子育て支援の充実」が18.8%と高くなっている。

男女別で見ると、女性は「子育て支援の充実」が18.9%、次いで「介護支援の充実」が16.4%と高くなっている。男性は「子育て支援の充実」が18.7%、次いで「男女平等意識を育てる学校教育の充実」が11.9%と高くなっている。

図8-2-1

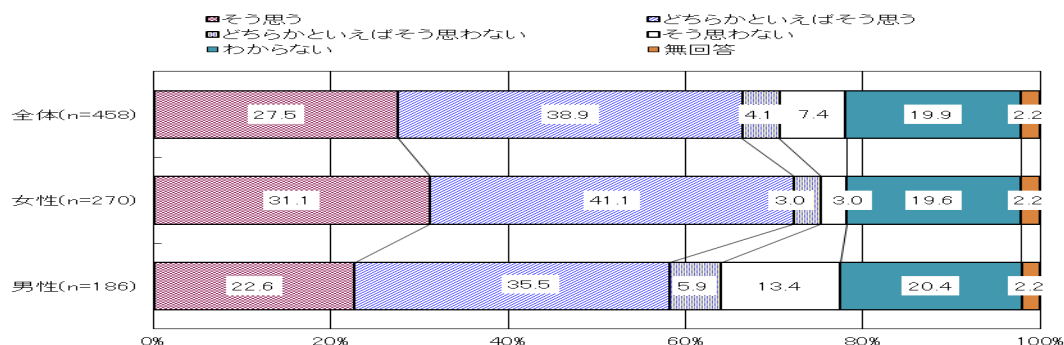


### 男性相談の必要性

全体では、「どちらかといえばそう思う」が38.9%、次いで「そう思う」が27.5%と高くなっている。

男女別で見ると、「どちらかといえばそう思う」は女性が41.1%、男性が35.5%となっており、「そう思う」は女性が31.1%、男性が22.6%でそれぞれ女性の方が高くなっている。一方で、「そう思わない」は女性が3.0%、男性が13.4%となっており、男性の方が約4倍高くなっている。

図8-3



平成 29 年度 男女共同参画に関する市民意識調査報告書

(概要版)

調査主体 桶川市企画財政部人権・男女共同参画課

〒363-8501 桶川市泉1丁目3番28号

電話 048(786)3211 FAX 048(786)9866



桶川市マスコットキャラクター「オケちゃん」